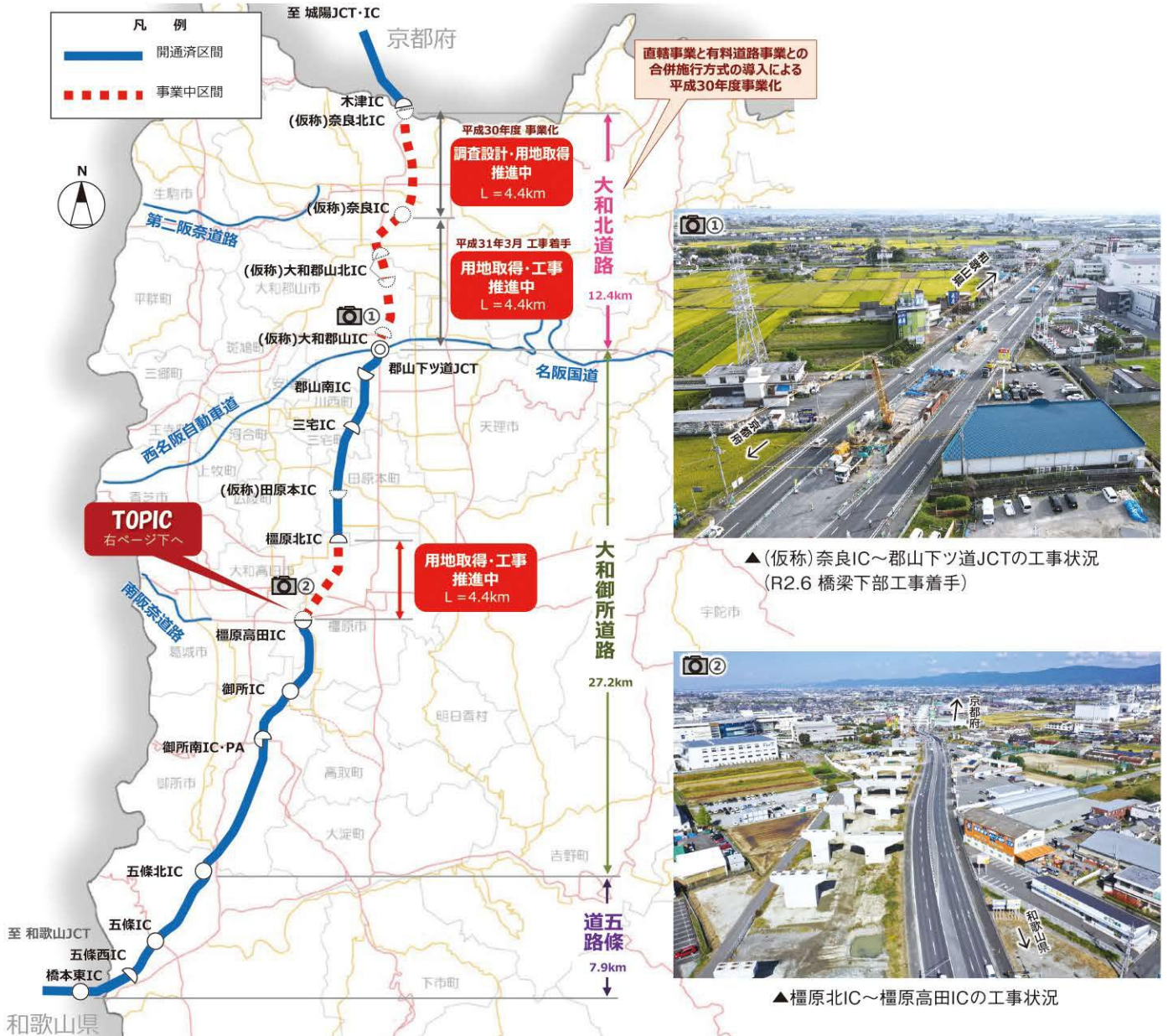


3 道路整備の取組

(1) 京奈和自動車道の整備

京奈和自動車道は、奈良県の南北軸となる重要な幹線道路であり、国とNEXCO西日本により整備が進められています。京奈和自動車道の整備により、移動時間の大幅な短縮や定時性の確保による企業立地の促進、観光振興などの地域経済の活性化、緊急医療施設へのアクセス向上による救急医療体制の強化等、様々な効果が期待されます。また、紀伊半島アンカールート(12ページ参照)の一部を形成し、災害時には救命救急活動や物資輸送の緊急輸送道路としての役割を担っています。

奈良県では、京奈和自動車道の早期全線開通に向け、用地取得等に協力するとともに、整備促進を国に働きかけています。



京奈和自動車道の進捗状況

全体		
京奈和道全体	総延長	約120km
	整備済み延長	約88km
	整備率	73%
奈良県域	総延長	約48km
	整備済み延長	約31km
	整備率	65%

区間別

大和北道路	
(仮称)奈良北IC～(仮称)奈良IC	調査設計・用地取得を推進中
(仮称)奈良IC～郡山下ツ道JCT	用地取得・工事を推進中
五條道路	
五條北IC～和歌山県境	平成18年6月に開通

大和御所道路	
郡山下ツ道JCT～郡山南IC	平成27年3月に開通
郡山南IC～橿原北IC	平成18年4月に開通
橿原北IC～橿原高田IC	用地取得・工事を推進中
橿原高田IC～御所IC	平成24年3月に開通
御所IC～御所南IC	平成27年3月に開通
御所南IC～五條北IC	平成29年8月に開通

令和3年3月31日時点

京奈和自動車道のストック効果

●企業立地の促進

初の開通以来、周辺の工業団地では、令和2年上期までの企業立地件数が累計396件となりました。

また、それに伴い4,985人の雇用の場が創出されました。

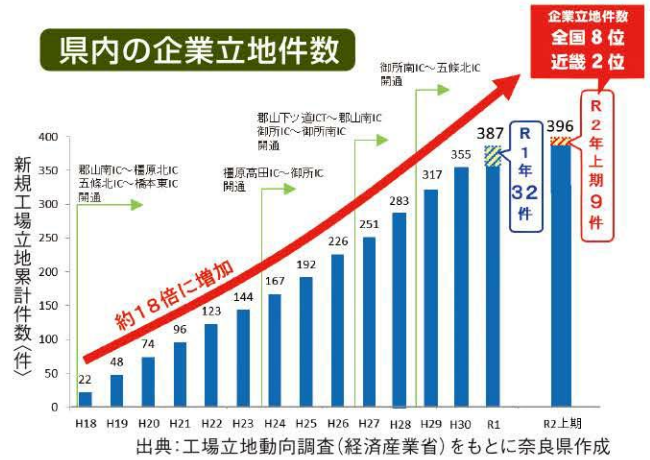


▲産業用地の確保を進める御所IC付近



▲産業集積が進む五條北IC付近

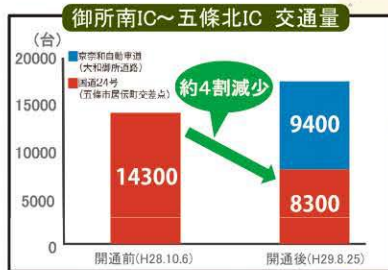
県内の企業立地件数



●国道24号の慢性的な渋滞が緩和

京奈和自動車道の開通で、全体の交通量は増加していますが、並行する国道24号の交通量は減少し、円滑に通行できるようになっています。

交通量の減少により、交通事故の減少も期待されます。



※国道24号の交通量は、居伝町交差点の北側断面交通量(昼間12時間)



●観光周遊ルートの形成

大阪・関西から奈良・和歌山の世界遺産を結ぶ新たな観光周遊ルートが形成され、県全域の観光振興につながります。



TOPIC トピック

橿原北IC～橿原高田ICの早期開通を目指しています

橿原北IC～橿原高田ICの早期開通と大和高田バイパスとの早期連結を目指して、継続した用地取得に加えて、国による土地収用法に基づく手続きも進められています。(令和2年6月16日 土地収用法に基づく事業認定告示)



工事状況



3 道路整備の取組

(2) 紀伊半島アンカールートの整備

県南部地域における防災機能向上及び地域活性化を図るとともに、紀伊半島全体にとっての道路ネットワークの代替性及び多重性を確保し、近い将来発生が危惧される南海トラフ巨大地震等の大規模災害への対応力の強化を図るため、国と県で連携して「紀伊半島アンカールート」の早期整備に取り組んでいます。

紀伊半島アンカールートとは…

紀伊半島の骨格となる京奈和自動車道、近畿自動車道紀勢線、それを結ぶ五條新宮道路(国道168号)、国道169号の形が船の錨(イカリ: anchor (アンカー))の形に似ていることから呼称されています。



地域高規格道路 五條新宮道路 (国道168号)

五條新宮道路は、京奈和自動車道と近畿自動車道紀勢線を南北に結ぶ地域高規格道路です。現在、以下の事業箇所の早期整備と、未事業化区間の事業化に向けて取り組んでいます。

国道169号

国道169号は、県南部地域の地方創生、国土強靱化の観点から重要な路線です。現在、以下の事業箇所の早期整備と、未事業化区間の事業化に向けて取り組んでいます。

新天辻工区区間の現状

平成28年度に大規模法面崩落により70日間の通行止めが発生

五條市西吉野町西野 (平成28年4月) 五條市西吉野町西野 (平成25年9月)

国道168号の中で冬期間通行の最大の難所

天辻峠(五條市)で立ち往生する車両 (平成28年1月)

大規模広域防災拠点アクセス道路

平成30年度事業化 新天辻工区

阪本工区

平成30年3月全線開通 辻堂バイパス



伯母峯峠道路区間の現状

現道の新伯母峯トンネルは車両のすれ違いが困難な状況

高さがギリギリ

中央線をはみ出して走行

新伯母峯トンネルにおける大型車のすれ違いの状況

通過時間(秒)	通過時間
131.0	約2割増加
160.0	
324.0	

【参考】 離合なし(平均) 離合あり(平均) 離合あり最大時間

資料:奈良国道事務所調べ (平成28年10月24日(土)～11月23日(平日))

十津川道路(Ⅱ期)区間の現状

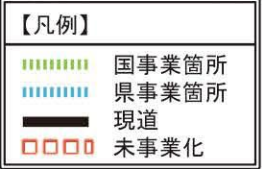
平成27年度に大規模法面崩落により61日間の通行止めが発生

十津川村桑畑 (平成27年7月) 被災時の通勤・通学状況 十津川村桑畑

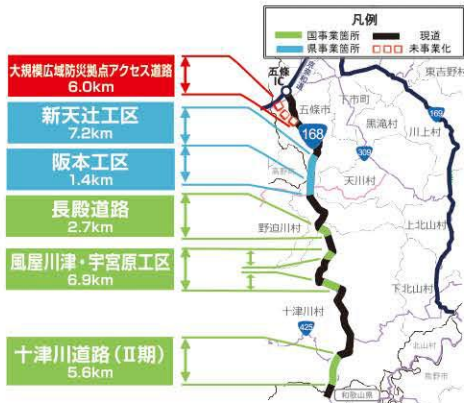
令和2年度新規事業化 十津川道路(Ⅱ期)

下北山村前鬼～音枝区間の現状

現道は急カーブが連続し線形不良であり車両のすれ違いが困難な状況



五條新宮道路(国道168号)の整備状況



TOPIC
トピック

風屋川津・宇宮原工区の起工式を開催しました



▲起工式(R2.9.21)での関係者による歎入れ

現在、風屋川津・宇宮原工区の工事が進んでいます。



▲工事のようす



阪本工区

現在、阪本工区の工事を進めています。



▲工事のようす

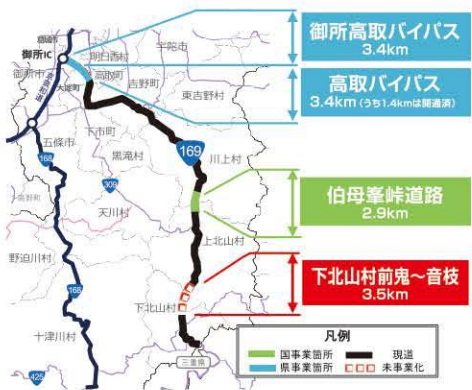
長殿道路

現在、長殿道路の工事が進んでいます。



▲工事のようす

国道169号の整備状況



安全で安定した通行の確保!

国道169号は、三重県東紀州地域から関西圏への輸送ルートであるとともに、吉野郡南東部から南奈良総合医療センターなどの高次医療施設への救急医療活動を支援する道路としての役割を担っています。国道169号の整備により、平常時・災害時において、安全で安定した通行が確保され、強靱な道路ネットワークが構築されます。



▲南奈良総合医療センター(大淀町)



▲急カーブによる救急車両のすれ違い(下北山村上池原)

高取バイパス

現在、高取バイパスの工事を進めています。



▲工事のようす

伯母峯峠道路

現在、伯母峯峠道路の工事が進んでいます。



▲工事のようす

(3)(仮称)奈良IC周辺〔(都)西九条佐保線等〕の整備

京奈和自動車道の(仮称)奈良ICに直結するアクセス道路であり、まちづくりの骨格となる(都)西九条佐保線や(都)大安寺柏木線の整備及びJR鉄道高架化、新駅設置を推進します。

また、(仮称)奈良IC周辺では、ICと新駅を核とした地域資源を活用した魅力あるまちづくりに取り組むとともに、ICと鉄道駅の結節による周遊性の向上を図ります。

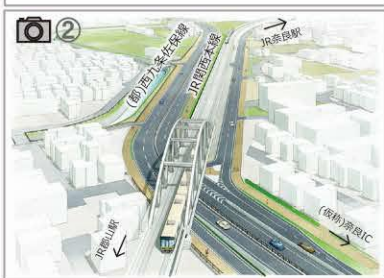
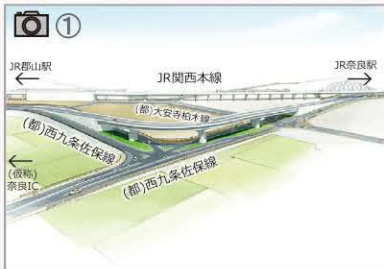
■ (仮称)奈良IC周辺位置図



TOPIC トピック

JR関西本線の高架化工事に着手します

JR関西本線の高架化事業について、令和3年1月に西日本旅客鉄道株式会社と工事施行協定を締結しました。



▲整備後のイメージ



▲整備後のイメージ

(4) 渋滞の解消

国道や県道で発生している渋滞の対策について、国や警察などと連携するとともに、道路利用者など県民意見を反映し「奈良県みんなでつくる渋滞解消プラン」を策定し、本プランに基づき重点的に取り組んでいます。

平成25年1月には、対策効果の検証や、新しい渋滞情報に基づく渋滞箇所の抽出等により、「地域の主要渋滞箇所」63区間で147箇所を特定し、公表しています。

渋滞対策実施後には効果検証を行い、必要に応じて対策案の改良や追加の検討を行っています。平成29年度に8箇所、令和元年度に4箇所対策の効果を確認されたため、渋滞箇所を135箇所に見直しました。

渋滞対策の実施

●ソフト対策・速効対策を重視した取組

パーク&ライド施策などの利用者に協力を求めるソフト対策や用地買収を伴わない左折レーン設置や右折レーン延伸などの速効対策を重点的に実施します。

ソフト対策の実施例 奈良市中心市街地への交通対策(16ページ参照)

速効対策の実施例 道路区域の土地を活用し、右折レーンを新設

●ハード対策を実施する箇所

速効対策・ソフト対策と併せて、以下のようなハード対策を進めます。

- ・骨格幹線道路ネットワークの形成
- ・地元協力が得られた箇所から交差点改良など

ハード対策の実施例 用地買収を行い、右折レーンを新設



▲(主)大阪生駒線 阪奈道路生駒IC交差点



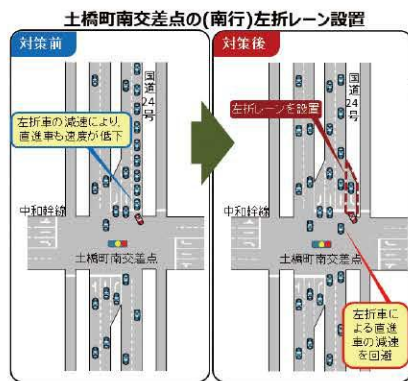
▲(一)古瀬小殿線 小殿北交差点

国道24号の渋滞対策方針

《奈良市域の対策方針》



《橿原市域の対策方針》



【凡例】	
○ 対策完了・完了予定	ハード対策
□ 対策中・検討中	
■ 実施中	ソフト対策

(5) 奈良中心市街地の交通対策

奈良中心市街地には、世界遺産「古都奈良の文化財」などの重要な史跡や文化財が多数点在し、多くの観光客が訪れています。一方で、観光シーズンの土日祝日等には、車での来訪が増え、中心市街地での交通渋滞や環境悪化といった課題があります。

そこで、より多くの方に奈良を楽しんで頂きながら、中心市街地の渋滞緩和・環境負荷低減を両立するため、電車やバスなどの公共交通機関で訪れて頂くよう呼びかけるとともに、車での来訪者に対しては、パーク&ライドの取組を行っています。さらにぐるっとバスの運行や木簡型のバス一日乗車券の発行、バスの位置情報を提供するバスロケーションシステムの運用など、奈良市内を公共交通で周遊して頂くための事業を実施しています。



▲公共交通利用促進ポスター (R2春)



▲公共交通利用促進ポスター掲示のようす (JR天王寺駅)



▲奈良県コンベンションセンター バス停留所



▲木簡型のバス一日乗車券

ぐるっとバスの運行及びパーク&ライド駐車場の開設



▲令和3年度のぐるっとバスルート・パーク&ライド駐車場位置図

TOPIC トピック

ぐるっとバス(大宮通りルート)が大和西大寺駅南口に乗り入れします



大和西大寺駅南口の整備完成に合わせ、令和3年4月から、ぐるっとバスの大宮通りルートの大和西大寺駅南口への乗り入れを開始します。

乗り入れ開始に向け、令和2年秋には大和西大寺駅～朱雀門ひろば(平城宮跡)間を延伸する試験運行を行いました。その結果、9割以上の方から満足の声をいただきました。



▲試験運行の様子(大和西大寺駅南口 臨時バス停)

(6) 自転車周遊環境の整備

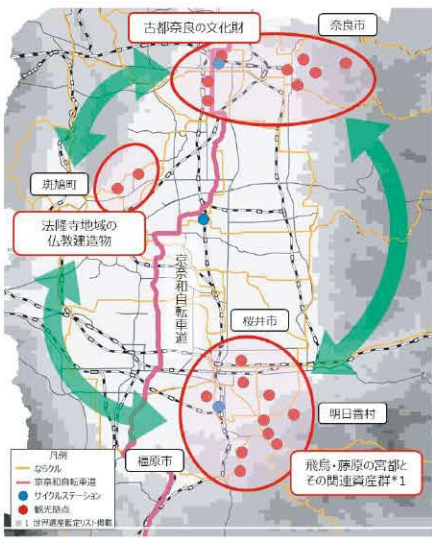
自転車利用促進に向けた取組として、平成22年に「奈良県自転車利用促進計画」を策定し、広域的な自転車利用ネットワーク「ならクル」などのハード施策に加え、自転車利用者の受入環境充実を図る「自転車の休憩所」や「サイクリストにやさしい宿」の認定などのソフト施策に取り組んできました。

また、自転車活用推進に向けた取組として、令和2年3月に「奈良県自転車活用推進計画」を策定し、「世界遺産周遊サイクルートの整備着手」や「サイクリストにやさしい駐車場の認定」などの新たな取組を加え、引き続き自転車の活用推進に取り組んでいきます。

自転車活用推進に向けた主な取組

● 世界遺産周遊サイクルートの整備

大和平野の3つの世界遺産等を結ぶ環状のルートを整備



▲「世界遺産周遊サイクルート」のイメージ



▲世界遺産周遊サイクルートの案内誘導サイン(イメージ)

● 自転車利用環境などの整備

- ・京奈和自転車道の完成に向けた整備
- ・サイクリストにやさしい駐車場の認定
- ・自転車の休憩所の認定
- ・サイクリストにやさしい宿の認定
- ・自転車マップの作成 など



▲サイクルステーション (1)



▲サイクリストにやさしい宿 (2)



▲サイクルステーション (1)(2)(3)



▲サイクリストにやさしい宿 (4)

TOPIC

京奈和自転車道が繋がりました

京奈和自転車道は、京都府・和歌山県と連携して取り組む、京都・嵐山から和歌山港に至る全長約180kmの広域サイクリングルートです。奈良県内では奈良市から五條市へ至る約75kmの整備に取り組み、令和2年3月末に京奈和自転車道が繋がりました。



▲京奈和自転車道(大和郡山市内)



▲京奈和自転車道(広陵町内)



▲京奈和自転車道(奈良県内)



▲京奈和自転車道(広域図)



▲京奈和自転車道のサイン